

## 令和 7 年度公開臨海・臨湖・センター実習 実施計画書

実習タイトル	北の海、潮間帯のフィールド生物学		
実習内容	<p>海と陸の境界である潮間帯では様々な生物がひしめき合って生息している。どのような生物が共存できるかは、狭い垂直範囲内で急激に変化する環境条件や生物同士の関わりに大きく影響される。本実習では、潮間帯および潮下帯の生物を対象とし、生物の多様性とそれを規定する要因について明らかにすることを目的に行う。受講生は、生態学コースと分類学コースいずれかのアプローチを選択する。</p> <p>生態学コースでは、学生自身がグループを組み、主体的に研究目的を設定し、多様性を実測するためのフィールド調査を組み立て、実践する。調査で得られたデータは必要に応じて解析を行う。実習の最後にはグループ毎に成果を紹介し、他のグループの成果についても理解を深める。</p> <p>分類学コースでは、潮間帯岩礁・砂浜・アマモ場・潮下帯泥底等のフィールドにおいて様々な生物の採集法・観察法・同定法を習得し、浅虫周辺の底生生物の種多様性を明らかにすることを目指す。また陸上と比較して遥かに多様な動物門を観察することができる海洋環境において、様々な底生生物の体の構造について学び、海洋生物の多様性について実践的な理解を深める。</p>		
実習内容キーワード	生態学・分類学・生物多様性・潮間帯・フィールド調査 他		
担当教員氏名・ 所属・役職名	岩崎 藍子・東北大学浅虫海洋生物学教育研究センター・助教 福森 啓晶・東北大学浅虫海洋生物学教育研究センター・助教		
協力教員氏名・ 所属・役職名			
対象学生・学年	学部 2 年生以上 (学部学生のみ)	開講期間	8 月 8 日 (金) - 8 月 15 日 (金)
開講大学・施設名	東北大学・浅虫海洋生物学教育研究センター		
施設の住所	〒039-3501 青森市浅虫字坂本 9 番地		
電話	017-752-3388	F a x	017-752-2765
e-mail	asamushi@grp.tohoku.ac.jp	Web Site	http://www.biology.tohoku.ac.jp/lab-www/asamushi/
交通 案内	東北新幹線「新青森駅」から JR 奥羽本線で「青森駅」まで移動、青い森鉄道に乗り換えて「浅虫温泉駅」下車、徒歩 20 分(約 1km)。詳しくはセンター Web Site を参照。		
費用	1 日 2000 円程度 (2 食を含む)		
授業科目名	公開臨海実習		
単位数	2 単位	定員数	10 名
授業料の徴収について	なし		
受講生選抜基準と 申し込み締め切り	先着順、人数が多い時には他の公開臨海実習と重複受講しない者を優先します。 申し込み締め切り: 2025/6/30 (月)		
選抜結果連絡法	履修に必要な書類とともに、メールによって本人に直接通知します。		